

あきた牛飼い塾通信

発行日：平成 25 年 3 月 4 日

平成 24 年度 第 2 号

発行者：(社) 秋田県農業公社



義平福号

【活動報告】

あきた牛飼い塾総合研修会が、11月29日～30日に秋田市のユースパルと大仙市神岡の県畜産試験場を会場に行われました。

11月29日はユースパルで、秋田県農業共済組合連合会中央部家畜診療所の今野先生から、子牛の育成について、自らも繁殖牛を飼養する経験を踏まえて、具体的な管理方法のお話がありました。

続いて、全国和牛登録協会秋田県支部の加藤事務局長から、長崎県で開催された第10回全国和牛能力共進会や全国の肉用牛改良状況についてのお話がありました。

最後に青色申告について、県畜産振興課の齋藤副主幹から、その必要性と意義について説明がありました。

翌日は、畜産試験場で義平福の現地視察を行いました。実際に牛をみることにより、参加された方々は、交配や産子の管理の具体的なイメージをつかんだようでした。また、当日は、ABS秋田放送の取材もあり、義平福の全共入賞の話題性と、消費者にもアピールする力が大きいことが感じられました。また、若手肉用牛農家の「あきた牛飼い塾」の活動の一端をアピールする機会にもなりました。

次回には、さらに充実した内容にすべく努力しますので、今後ご期待ください。



夫婦で頑張っています！

齋藤喜仁さんご夫妻 (由利本荘市)



今回は、鳥海山の麓、由利本荘市の齋藤喜仁さんご夫妻をご紹介します。

齋藤さんは、大学卒業後、家業の酪農に従事した後、平成20年に新規参入円滑化等対策事業を活用されて、ご夫婦で50頭規模の繁殖経営を開始されました。

繁殖経営を実際に開始した当初は、乳牛とは違う黒毛和牛の飼養管理に戸惑ったこともあったとのこと。このような中、由利地域は、先輩農家・若手農家・関係機関のサポートがあるので、それを自分なりに吸収しながら、自分の技術に出来るように頑張ってきたと語っていました。

経営開始後に初めて子牛市場に出荷した子牛のDGは低めでしたが、自分なりの反省と実践をふまえて、最近では、市場平均に近づいてきており、子牛の下痢防止や、良質な飼料を与えることにより、さらに出荷成績を向上させたいと語っておりました。

最近の飼料価格の高騰については、経営面に深刻な影響を与えていると感じておられて、稲WCSを活用するなどして、コストの見直しに努めているそうです。

将来的には、繁殖牛の規模拡大を目指しているということですが、今は、現在の規模を維持しながら夫婦で頑張って、購買者から喜ばれる子牛を生産していきたいとのことでした。



奥様と二人三脚で、さらに経営が発展することを御祈念申し上げます。

【経営情報】 償却資産の計算方法について

減価償却法については、平成19年度に計算方法が、平成21年に耐用年数が改正されており、すでにご承知されている事項かもしれませんが、確認の意味で今回は、繁殖雌牛の計算方法について掲載します。

平成21年に耐用年数が5年から6年に改正されました。また、平成19年に改正された計算方法については下記のとおりです。取得した時期によって計算方法が3タイプありますので、例示しました。

タイプ1 平成19年3月31日までに取得した繁殖雌牛

(平18年1月に500千円で取得、残存価額100千円)

5ヵ年均等償還して最終年に1円にする。

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
償却額	80,000	80,000	80,000	66,800	66,800	26,400	20,000	20,000
期末残高	420,000	340,000	260,000	193,200	126,400	100,000	80,000	60,000

.....

	H26	H27	H28
償却額	20,000	20,000	19,999
期末残高	40,000	20,000	1

⇒耐用年数変更

償却可能限度額（残存価額）に達した翌年以後は5ヵ年均等償還して最終年に1円にする。

タイプ2 平成19年4月1日～平成20年3月31日までに取得した繁殖雌牛

残存価額と償却可能限度額は廃止。

(平成19年4月1日に500千円で取得)

20年まで旧耐用年数で

耐用年数変更 (H21からは新耐用年数での償却)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
償却額	75,000	100,000	83,500	83,500	83,500	74,499
期末残高	425,000	325,000	241,500	158,000	74,500	1

※H19は9ヶ月の償却月数

タイプ3 平成21年4月1日以降に取得した繁殖雌牛

(平成21年4月1日に500千円で取得、耐用年数6年)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
償却額	62,625	83,500	83,500	83,500	83,500	83,500	19,874
期末残高	437,375	353,875	270,375	186,875	103,375	19,875	1

※H21は9ヶ月の償却月数

◎ 塾生の皆様へのお知らせ

3月 8日(金) 「草地利用促進シンポジウム」

会場：ホテルメトロポリタン秋田（秋田市）

時間：10:30～15:00

お問い合わせ 秋田県農業公社まで

電話 018-893-6213

3月10日(日) 「あきたの畜産まるごと応援フェスティバル」

秋田県内の畜産物の展示販売、試食コーナーあり

会場：秋田拠点センター「アルヴェ」(秋田市)

時間：10:00～15:00

お問い合わせ 県畜産振興課まで

電話 018-860-1806

3月11日(月) 「秋田県有種雄牛枝肉共励会」

会場：秋田県食肉流通公社（秋田市河辺）

時間：9:00～12:00

お問い合わせ 県畜産振興課まで

電話 018-880-1807

編集後記

平成24年度の「あきた牛飼い塾」の運営にご協力いただきありがとうございました。皆様のご意見を運営に反映させるようにいたしましたが、今後も、相互に意見交換をしながら、運営をしていきたいと考えております。

統計によると秋田県内の肉用牛農家戸数は、平成23年度は、1,290戸と減少傾向にありますが、逆に塾生の方々の存在感は年々増しているような気がします。

あきた牛飼い塾の目的は、技術の向上も一つですが、人とのつながりを作ることも一つの目標にしております。

次年度も是非、皆様方からのご意見を反映させて、より充実できるよう、今後とも、ご協力のほど、宜しく願い申し上げます。(牧)

